



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。折りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2020. 7 月第 620 号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

「それを聞いたエリヤは恐れ、直ちに逃げた」(列上19…3)と新共同訳聖書は語る。ところが興味深いことに、口語訳聖書、新改訳聖書2017、そして新しい聖書協会共同訳では、ここに「自分の命を救うため」という言葉が入っているのだ。「彼はそれを知って立ち、自分のいのちを救うため立ち去った」(新改訳2017)と。どうして

イエスが、ペトロ、ヤコブ、ヨハネの3人の弟子だけを連れ、高い山に登られた時、その姿が光り、白く輝いたと福音書は語る。山上の変貌」として知られるこの話には、二人の旧約時代の人物が現れる。一人は、律法を象徴するモーセ。そしてもう一人が預言者を代表するエリヤであった。エリヤは、北王国稀代の悪王アハブとその妻イゼベルの時代に活動した預言者である。異教の神バアルに仕える預言者たちと対決し、それを打ち破り皆殺しにしたエリヤに、女王イゼベルは怒り狂い、その命を狙おうとする。イゼベルの魔の手から逃れ、荒野への道をゆくエリヤに語られた主の御使いの言葉が、今月の選ばれた聖書箇所である。

瞑想

主の御使いはもう一度戻ってきてエリヤに触れ、
「起きて食べよ。この旅は長く、
あなたには耐え難いからだ」といった。

王上19…7

主幹牧師 榎本 恵

り込んだ。彼はそこで「主よ、もう十分です。私の命を取ってください」(列上19…4)と懇願する。生きたいと願っていた者が、いつの間にか、死にたいと眩し出す。希望の源である生への執着が、死への諦めと変わってしまう矛盾。しかし、私には、これが矛盾であるとは思えない。なぜなら、この生と死の間には、共通する何かがある

に、自ら死を選びたいと願うということになってしまう。そんな時、私は、いつもこの主の言葉を思い出す。「わたしの後に従いたいものは、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしの命を失う者は、それを救うのである」

(マルコ8…34-35)。私たちは何のために生きるのか。誰のために死ぬのか。私たちの命は、私のもなのか、それとも誰のものなのか。

私たちの人生の旅は、御使いがエリヤに告げたように「長く、耐え難い」。「明けない夜はない」とか、「やまない雨はない」とはいくものの、次から次に襲ってくる試練や苦難に、心が折れそうになる。そんな時に、「頑張ろう」などという言葉は、まさに逆の効果しか生みださないだろう。しかし、その長く耐え難い道が、十字架の道であり、その目指すところが、エリヤも向かった「ホレブの山」、すなわちモーセが神と顔と顔を合わせ、契約を授かった神の山であることに目覚めた時、私たちは本当の生きる意味を見出すのではないか。

友よ、まさに「人の一生は重き荷を背負いて、遠き道を行くがごとし」である。けれども、神は、必ず、御使いを送ってください、疲れた体に触れ、「起きて食べよ」と、み言葉のパンをもって、私たちを養い、導いて下さる。私たちの生が目指すゴールは死ではなく、神の山なのだから。

第10回 札幌一日アシュラム (集会中止のご挨拶)

「主の恵みに思いがけない励ましを頂きました」と札幌アシュラム事務局
吉田姉から便りあり。同封の石垣師メッセージを皆様にもお届けします！

石垣 弘毅

《主題聖句》

念に思います。私も残念に思います。

「あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせない素晴らしい喜びに満ちあふれています。」ベトロの手紙ー1章8節

私事ですが、今春、地元の中学を卒業し、本州の高校への進学を楽しみにしていた娘がコロナウイルス感染症拡大のため、入学式は延期、現在、自宅で待機となりました。楽しい中学の思い出となるはずの卒業式も、仲間との十分なお別れの時間も持つことが出来ず、たくさんの残念を体験しています。また、外に目を向ければ、大切な人を突然、病で失い、今も悲嘆にくれている人もいらっ

しゃいます。私は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言など、国内で深刻化する感染症の対策のために、集会を中止することになりました。がっかりされている方もいらっしゃる

主題聖句の「言葉では言い尽くせない素晴らしい喜びにあふれて

います」との信仰者の告白は惨禍と思えるような状況にいる私達にとつて、どのように響くでしょうか。

旧約聖書に登場する預言者サムエルの母ハナは不妊の女でした。「ハナは悩み嘆いて主に祈り、激しく泣いた」(サムエル記上1章10節)とあります。さらに彼女を悩ませ不妊という状況について「主はハナを胎を閉ざしておられた」(同書1章5節)と説明します。ここに

神の強い介入、神の手があります。しかし、それは裁きや災いをもたらす手ではなく、慈しみと祝福、平和をもたらす手でした。不

妊の悲しみを越えた先に神はイスラエルを祝福に導く預言者サムエルの懐妊という恵みをハナに備えていたのださつていたのです。

今、コロナウイルス感染症によりもたらされている様な苦しみや悲しみの中で、そこに主の手が働いていることを思います。この手は私達を絶望と悲しみに突き落とす神の怒りと裁き、呪いの手に見えるかもしれません。

しかし、この手は神の慈愛の手であり、喜びと希望、祝福をもたらすキリストの愛の手です。この手は目に見えないのではなく、信仰によつてのみ確認することが出来る神の手です。だから信仰をもつて私達も大胆に告白しましょう。「言葉では言い尽くせない素晴らしい喜びに満ちあふれています」と。いつかコロナウイルス感染症が収束し、私達が再会する日を迎えた時に、きつと、この聖句が真実であったことを互いに証しし、分かち合うことができるでしょう。

皆様、一人一人の上にキリストの守りと平和、そして祝福が豊かにありますように、祈ります。アーメン。
(日本キリスト教団 中標津伝道所牧師)



2019年秋、第16回 国際正義・平和アシュラムin 札幌にて。ファミリーの友と。後列左 石垣師

アメリカ雑誌

鳥はどこからとんでくる



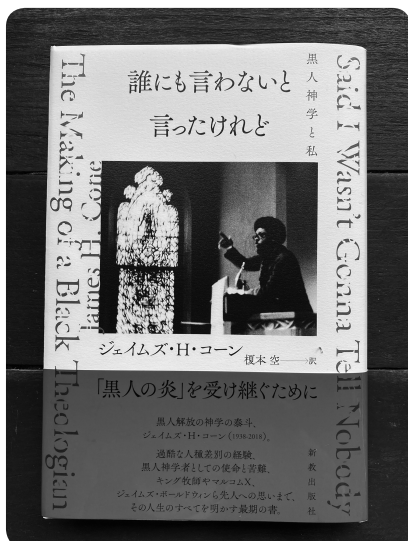
榎本 空

アメリカが燃えている。5月25日の警官によるジョージ・フロイド氏の殺害に端を発する抗議デモは、全米、いや世界中に広がった。公民権運動のようにピラミッド型の組織を持たない多中心的な今回のデモは、様々な様相を見せ、それ故に人々の共感を集め、広がりを見せているのだろう。また、この運動が決して人種差別にのみならず、格差や性的マイノリティーの差別など、現代アメリカの病ともいえる課題を射程に含んでいることも強調したい。さて、そんな最中『誰にも言わないと言ったけれど』を新教出版社から翻訳出版させていだいた。私がユニオン神学

校在学時、指導教官を務めて下さったジェイムズ・H・コーンという黒人神学者の自叙伝だ。人種主義的な白人神学に徹底的な否を突きつけ、奴隷制以来、人間以下の存在として扱われてきた黒人の苦難と抵抗に比べ得るイエスの姿を求め続けたコーン。そんな彼が生涯の最後に、神学者としての寂しさ、祈り、自身が背負った十字架について率直に明かし

ている。何卒、手に取って頂ければ幸いである。

「神はノアに虹のしるしを与えたもうた。もう、水は終わった。次は火だ！」小説家、ジェイムズ・ボールドウィンは1963年、この元奴隷が書いたという預言を冠した評論集を発表した。現在のアメリカまでも想起させるこの言葉の妥当性は、これから先、幾度も確認されていくだろう。聖書の言葉は現実のただなかで響く。未来を言い当てるのではない、過去を編み直



朝日新聞、沖縄タイムス、キリスト教新聞、中外日報（アシュラムの友）により、いち早く掲載）等にて紹介され感謝！

「旧佐藤邸」購入のお礼とお願い

わたしはこの目であなたの救いを見たからです。

ルカ 2:30

主の平和

先月号に載せました「アシュラムセンター新修道場計画」への献金のお願いに早速多くの皆様にお答えいただけましたこと感謝いたします。「アンナの家の隣のヴォーリズ建築をかうのですね」、「アシュラムの新しい修道場が主に用いられますように」、「コロナの大変な時期に当たりましたが、応援します」。いろいろな言葉と共に、祈りとお支えいただいておりますこと感謝です。主の御計画のうちに、6月末で、契約を交わすことができそうです。

ただ、借入額が、アシュラム債、そして銀行も含め6000万円近くあります。引き続きお祈り、献金をお捧げください。

この建物を「シメオン黙想の家」と名付けました。「アンナ祈りの家」と共に、宮詣にきた幼子、主を抱きとめた人の名前です。どうかこの場所が、主の栄光を現すものとなりますように。

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵



すのだ。ただ過激な言葉を読むのではない、そうとしか言わざるを得ない言葉を語るのだ。安価な希望に頼るのではない、それを手放す術を学ぶのだ。そんな聖書の読み方の実践を試みる若者向けの会を、アシュラムセンター主催で近日中に始

めたい。詳細は後日に譲るが、名は「聖書と学ぶ会」。聖書について学ぶのではなく、この不確実で壊れやすい現実生きることを聖書と学ぶ会。どんな出会いがあるのか楽しみにしている。

（アメリカ留学中）
（オンラインでのアシュラム継続中）

2020年度 アシュラムの天上の友を憶える日礼拝

イエスは主なり

今年も、天へと帰られたアシュラムの友を憶え、祈る「天上の友を憶える日礼拝」を行います。残念ながらコロナウイルス対策のため、今年の礼拝は、いつものように多くの方たちの出席をいただき行うことはできません。しかし、中止には致しません。

センター定例の夕礼拝の中で、行う予定です。これはインターネットで、ライブ配信もいたしますので、ご遺族またアシュラムの友の皆様には、どうぞご自宅で共に、天へと凱旋された友を覚え祈りを合わせていただきたいと思います。

17世紀、ドイツのオーバーアマガウの村を襲ったコレラ禍は多くの村民の命を奪いました。しかし、残された村人は、そこで誓いを立て、「キリスト受難劇」を10年ごとに繰り返し演じることを始めました。私たちも、死を乗り越え、復活の命、永遠の命を約束してくださった主を、共に喜び感謝する「天上の友を憶える日礼拝」となることを期待しています。

覚えお祈りください。

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵

2020年 天上の友を憶える日礼拝（夕礼拝とともに）

日時：2020年7月19日(日) pm 5:00～

場所：アシュラムセンター

「ちひろば牧師記念チャペル」



故人氏名 (敬称略)	召天日	召天時 在住地
熊野 悦萬	2019.4.15	兵庫
唐渡 弘	2019.8.9	香川
黄 伍秀英	2019.9.2	台湾
内海 初子	2019.9.17	京都
角野 敏子	2019.9.24	大阪
小宮山林也	2019.9.27	愛媛
大塚 政公	2019.10.7	福岡
佐藤 幸子	2019.10.26	愛知
山野ヤス子	2019.10.28	大阪
吉田恵美子	2019.11.2	愛媛
三宅 篤	2019.11.5	愛媛
磯 波栄	2019.11.7	栃木
奥川 弘子	2019.11.22	福岡
富岡 邦夫	2020.1.	兵庫
古澤富美子	2020.1.3	兵庫
永井あつ子	2020.1.17	静岡
木村はる江	2020.6.9	京都

証し ⑥

石田 哲夫

6. おわりに

わたしの体験から学んだ全身に加わる重圧は『天路歷程』の主人公クリスチャンの背負う荷物を追体験するものでした。殊にクライシスとして人が①心的ストレス ②身体的疲労 ③環境の変化 ④として①②③が短時間で同時に出現した時に起こる現象であり、抑うつ感情の出現と同時に身体のパランスの崩れを体感するものとなりました。

ほぼ同時に出現するクライシスの現象に今なしうる手立てはクライシスの不利益から命のパランスを守ることであると同時に、私たちが生きる者として創造された、神の恩恵に気づき、イエスの放蕩息子の譬えのように「鮮やかな覚醒」(目から鱗)が与えられ、外界と呼吸するものとして原点に立ち戻ることであり、避けがたい問題に出遭ったときにも原点に立ち戻るフィードバックとして信仰が機能することを、『信仰に始まり信仰に至らせる。『信仰による義人は生きる』(ローマ1:17)と述べたパウロの言葉に学びました。

主なる神は、うつ病前性格である執着性気質(几帳面、熱中性、徹底性、義務感、責任感)をも負の要素としてではなく「創造主なる神を上げ!」との呼びかけで負は一転し正の要素とし愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制に満たされた者となり、キリスト・イエスに出遭ってみ言葉を呼吸し生きる者として造りかえられ、守られた者であることに気づかされました。マタイ福音書6:25～26を読ませて頂きます。主イエスは「空の鳥を見よ=天を上げ!」と呼びかけて下さっています。

(北陸・金沢アシュラム実行委員)(無教会 金沢畝田聖書集会) (終)



主幹牧師の2019年度の振り返りと2020年ビジョン(3)

2) 日本アシュラム連盟との関係について

さて、昨年の「第44回年頭アシュラム」には奉仕者として、日本アシュラム連盟理事であり、「九州アシュラム」の責任者でもある岡山敦彦牧師に来ていただいた。牧師への召命に至るお話や現在の日本の教会が抱える問題への思いなど熱く語ってくださった。とりわけ、日本アシュラム連盟とアシュラムセンターとが、お互いに力を合わせ、この日本のキリスト教界に、もう一度リバイバルのたねとなることを祈っておられる姿に、大いに励まされた。

昨年、私は、アシュラム連盟主催の「関東アシュラム」に、初めて助言者として奉仕させていただき、また引き続き「九州アシュラム」にもご奉仕をさせていただいた。このことは、アシュラム運動の新しい展開へとつながるに違いないと信じている。

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び」(詩篇133:1)

この年もまた、この恵みと喜びを味わうものになりたい。

さらに今年は、スタンレージョーンズ師によって、インドサトタルの地にアシュラムが開かれて、80年の記念の年になる。アシュラムセンターとアシュラム連盟の共同開催となるインドサトタルへのツアーが企画され、日本においてアシュラム運動が、再び見直されていく良い機会となることを願っている。(ツアーは中止となった。)



3) 海外アシュラムと国内のアシュラム

次に、海外においては、昨年、台湾、ブラジル、ニューヨークの地でアシュラムが開催された。台湾、またサンパウロでのアシュラムについては、すべて現地の教会が中心となり、驚くべきことに毎回100名を超える参加者が毎回集っている。共に日本の私たちアシュラムセンターとの関係を大切にし、昨年の「国際正義平和アシュラム」には台湾から27名の参加者と、ブラジルからはジュラ柳原牧師ご夫妻と寺尾貞亮兄が参加くださった。この両アシュラムとの間では、ますますつながりを強めていきたいと願っている。

だがその一方、残念ながら5年計画で続けてきたロスアンゼルスでのアシュラムは、昨年、一昨年と行うことが出来なかった。これについては、今後、現地でのニーズやまた足掛かりを求め、祈り続けていきたいと願っている。しかしそのような中で、ニューヨークのJAUC(日米合同教会)のメンバーを中心に、2泊3日のアシュラム集会が開かれた。ここはニューヨークマンハッタンにある大変古い日系人教会で、しばらく無牧の状態が続き、私も何度か礼拝の奉仕に伺った。その中で、何人かの教会員から、静まり祈る時を持ちたいとの願いが湧き上がり、今回のアシュラムにつながった。現在、息子の空(アメリカ留学中)が、月に一度礼拝の奉仕に行っており、できればまた、今年もアシュラム集会を行いたいとの希望がある。西海岸でのアシュラムが滞っている中で、東海岸の友の声が届いている。引き続き祈っていききたい。

(続く)

あとがき

世界は今混沌の渦の中にある。コロナ、「Black Lives Matter(黒人の命こそ大切だ)」の大きなうねり、そして私たちの国日本においてもコロナ対策のどさくさに紛れ出鱈目を行っていた政府への怒りが沸騰している。この時代に、イエスはどうかされただろうか、何を語っただろうか。そんな想いが溢れてくる。福岡の河村伸一郎兄から、次のようなメールをいただいた。「Brasil Methodist Libré Nikei 教会メンバーの看護師長ターニアさんと医師パウロさんおよび全ブラジルのコロナウイルス患者の為自分の命の危険に晒されながら奮闘している人達の為および全世界の奮闘している医療従事者の為、お願いします」今、私たちに必要なものは、この真剣な祈りだ。世界を覚え、祈ろうよ。

(恵)

「イエス君は一人一人に手を置きて癒し下さる分けへだてなく」小林佳子
ご夫妻で、三重から水戸に移られ、お嬢様のそばに。入院時の句です。皆様に祈りをこめて...

(特に今、開病中の友へ)

関西地方の集会は通常に戻る予定。
静岡、東京はオンライン。祈り検討中。
ホームページ、電話等でご確認下さい。

7月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

3(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会 PM1:00)
15(木)	カフェちいろば聖書入門講座(京都・伏見区深草 PM1:30)
17(金)	センター聖書教室(アシュラムセンター AM11:00)
19(日)	ちいろば牧師記念チャペル礼拝・ 天上の友を憶える日礼拝 (PM5:00)
21(火)	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)
27(月)	静岡聖書教室(オンラインAM10:00、PM1:30) 検討中
28(火)	東京聖書教室・桜美林リトリートアシュラム (オンラインAM10:30)

7月のアシュラムなど

23(木) (休)	第23回 福岡一日アシュラム (日本基督教団福岡中部教会 AM9:30) 0748-33-4030 アシュラムセンター 奉仕者 櫻本恵師
--------------	---

8月のアシュラム予定

27(木) 29(土)	第39回 関東青年アシュラム 中止 048-768-3001 森戸啓子姉
----------------	--

9月以降のアシュラム予定

9月18(金)~19(土)	第46回 新潟アシュラム
10月7(火)~8(水)~9(金)	第8回 日光オリーブの里アシュラム
10月9(金)~10(土)	第21回 愛知一泊アシュラム
10月19(月)~21(水)	第45回 京浜アシュラム
10月29(火)~31(土)	第28回 盛岡・秋田アシュラム
11月19(火)~20(水)	第44回 阪神アシュラム



“ちいろばチャンネル”にて、保郎牧師
のミニ説教(懐かしい写真も)配信中!
夕礼拝、各聖書教室(恵師の話)共にご
覧下さい!

各集会、通常に戻りつつある中、ご遠方からでも
ご参加できるオンライン聖書教室を新たに企画中。
祈りのつながりに感謝!!



櫻本栄次師、
かな姉、
訪ねて下さった。
センター久々の
お客様。



日本基督教団 安来教会牧師
山陰アシュラム推奨者
遠藤 誠一

「祈りについて」20年ぐらゐ前から数年間、保
田みゆき牧師から深沢教会の「バイブルアカデ
ミー神学院」で学んだことを、記してみたいと
思います。

(保田みゆき牧師は引退されました)

②探さない

私の探すべき方はどなたであり、どのような方か、はっ
きりと知って探さない。

私の靈魂が探す方は、イエスをこの世に送り、十字架
で死ぬようにされ、イエスを再び生かし、天に上げられ
た方であり、また聖霊を送って下さった方です。その方
は、国と、栄えと、栄光を、永遠に受けられる方です。

サウル王は、自分の運命を教えてくれる者がいないと
言って、口寄せの女を通して、死んだ者を探しました(1
サムエル29章)。また、カルメル山で、バアルの預言者
たちは、彼らの神の名前を呼びました。タルシシに向か
う船に乗った人々は、それぞれ自分の神々を呼びました。

しかし、私たちが探す方は誰でしょうか?この世の中
にいる神でしょうか、空中にいる神でしょうか?そうでは
ありませんね。ですから、はっきりと呼ぶ必要があるの
です。聖書で「わたしの民は知識がないために滅ぼされ
る」(ホセア4:6)と言われました。また、「私たちは主
を知ろう、主を知ることとせつに求めよう」と御言葉は
言っています(ホセア6:3)。ゆえに、私たちは「イエス」
という御名の前でひざまずいて、祈ります(ピリピ2:10-
11)。私たちが救いうる名は、これを別にしては、天下
のだれにも与えられていないからです(使徒4:2)。

多くの人が「主よ、神よ!」と呼んで祈り、巫子たちも
彼らの神を「主」だと言います。そこでイエス様はわた
したちが祈ることを間違わないように、「このように、祈
いなさい」と言われ、「天にまします我らの父よ、御名をあ
がめさせたまえ」と教えてくださいました(マタイ 6:9)。
私たちの祈りを受ける方は、栄光を受けなければならない
御名、永遠なる御名をお持ちになった方です。「主は
私の魂をいきかえらせ、御名のために私を正しい道に導
かれる」(詩23:3)と言われたように、神は「御自身の
御名のために」すべてのものを準備されました。です
から、御自身の御名を呼ぶ者と、御自身の御名を呼ばない
者を、はっきりと区別されるのです(ヨハネ1:12)。ゆえに、
わたしたちを救いうる名である「イエスの御名」を呼び
ましょう。イエスの御名を呼ぶことは、その方を探すこ
とのことです。「主」という呼称は名前ではありません。「自
分を治める者」という意味ですから、はっきりと「イエス
様」と御名を呼びましょう。(次号につづく)